



## 2021(令和3)年8月例会ご案内

### <創立50周年記念事業準備月間>



今月は9月に控えた下記 記念事業の準備月間として活動します。創立50周年にふさわしい行事にするために会員皆様のご協力をお願いします。

#### <記念事業概要>

##### 記念講演会 (於 くまがしホール)

(その1)『日時』 9月17日(金) 受付 午後1:00～

『演題』 ここまでわかった! 平群谷の中世城郭

『講師』 教育委員会 葛本 隆将 先生

『入場』 先着150名で受付終了

(その2)『日時』 9月18日(土) 受付 午後1:00～

『演題』 卑弥呼共立事情

『講師』 桜井市纏向学研究センター 所長 寺沢 薫 先生

『入場』 往復はがき申込 定員150名

※会員は次の申込で優先入場とします。

8月15日(日)までに地区幹事に聴講申込。地区幹事は8月18日(水)河本まで連絡。幹事不在の方は直接河本まで。

(080-6112-3406)

##### 記念展示

9月14(火)～19日(日) 9～17時

(15日(水)は休館、最終日19日(日)は午前中のみ)

テーマ1 平群谷の古墳 (総合文化センター1階 展示スペース)

テーマ2 平群の山城 ( " " 1階 ホワイエ)

※記念講演会・記念展示の詳細につきましては8月6日以降の史蹟を守る会ホームページに案内チラシを掲載しますので参照下さい。

## ～～ お願い ～～

8月3日(火)9～15時の予定で記念行事資料の印刷・製本・仕分け作業を行います。

都合の良い時間で結構ですので実行委員・会員皆様のご協力をお願いします。

作業場所 : 9～13時 2階 研修室1A・1B  
13～15時 2階 中会議室3

## 7月例会報告 <聖徳太子シリーズ1>7月11日(日)

「太子誕生の地を訪れる」

担当/繁田・岡村・河本

梅雨末期、西日本各地で記録的大雨の報告が相次ぐ中、例会が開かれました。

当日は予想外の晴天となり、蒸し暑く熱中症が心配される天気になりました。

起点の飛鳥駅構内に集合、会長から本日の例会は「聖徳太子没後1400年」を記念したシリーズ1で、太子誕生の地、橘寺を訪れるとの話がありました。

その後繁田さんから太子の生涯と仕事、主な業績の説明を聞いて出発しました。

最初の見学先の吉備姫王墓では奇妙な石造物・猿石に興味が集まりました。次の欽明天皇陵ではその巨大さに圧倒されました。

しばらくのどかな明日香路をたどり「鬼の雪隠・俎(まないた)」を見学しました。雪隠は石槨の蓋の部分で俎は底板との説明がありました。石槨は東西2ヶ所あり、斉明天皇と孫の建王(たけるのみこ)の一時的な埋葬場所との見方もあるそうです。この頃になると心配された暑さにより足取りが重くなりました。



飛鳥駅出発風景



吉備姫王墓(猿石をのぞきこむ)



移動風景



鬼の雪隠の前で



猿石:女性と山王権現

途中コンビニに寄り冷たい飲み物を仕込んで川原寺前公園で昼食をとりました。

午後は本日の目的地である橘寺を拝観しました。最初に本堂内で住職から寺の歴史と境内の見所の話を聞いた後、思い思いに拝観しました。

往生院の前にある万葉歌碑で足を止め森(洋)さんから次の説明がありました。

橘の寺の長屋に吾率宿し童女放髪は髪あげつらむか  
意味は「橘の長屋に連れてきて寝た童女放髪の少女は、もう髪あげをしてほかの男と結婚したのだろうか」と言う、とんでもない内容ですが、当時のおおらかさが伝わってきます。



涼しい木陰で昼食



万葉歌碑を説明する森(洋)さん



太子愛馬黒駒像/経堂

その後、複数の宮が設営されたという飛鳥宮跡に立ち寄り岡村さんの説明を、最後の訪問先の飛鳥寺跡で繁田さんの説明を聞き、バスで近鉄橿原神宮前駅を経由して帰路につきました。説明して頂いた役員と暑い中、参加して頂いた会員にお礼申し上げます。(河本)

[例会参加者22名(内当日会員1名)]



飛鳥寺跡にて繁田さんの説明

# 飛鳥宮説明図(甘櫨丘展望台)

